

Afterコロナの観光PR

東北公益文科大学

課題解決型インターンシップ報告 G班

c1200541 奥山雪乃 c1200742 管野優香

c1201457 末吉レオ c1201724 橘愛海

今回の課題

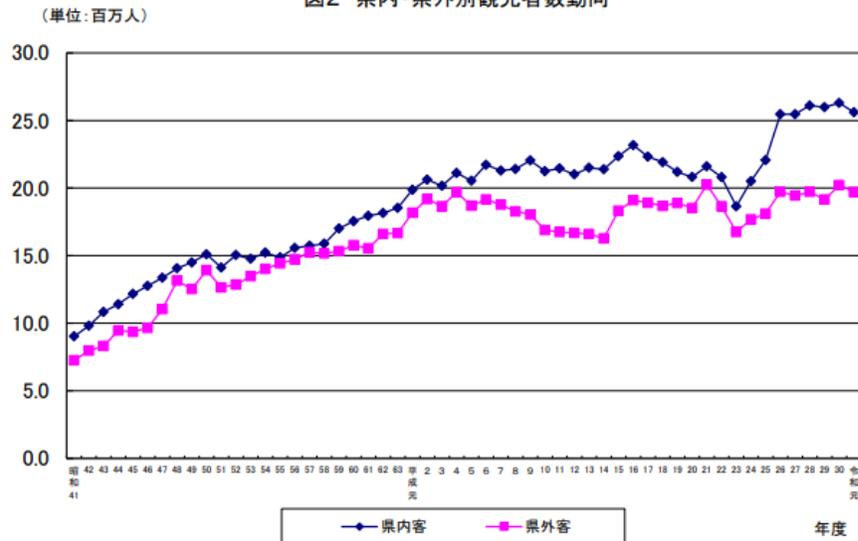
「Afterコロナ、コロナで衰退した観光業を回復させるため新しい切り口による観光PRの提案」

庄内withコロナの現状（山形県）

(単位：千人)

区分	令和元年度	平成30年度	対30年度増減率	対30年度増減
観光者数	45,311.7	46,507.4	△2.6%	△1,195.7
内訳	県内客	25,601.2	△2.6%	△696.3
	県外客	19,710.5	△2.5%	△499.4

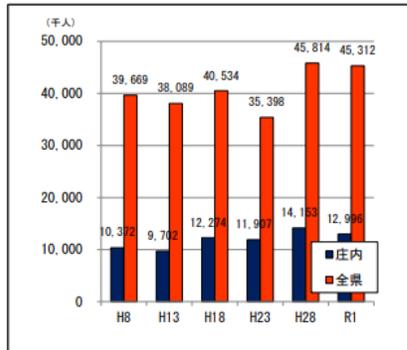
図2 県内・県外別観光者数動向



コロナウイルスが流行し始めた令和元年から観光者数が減少している

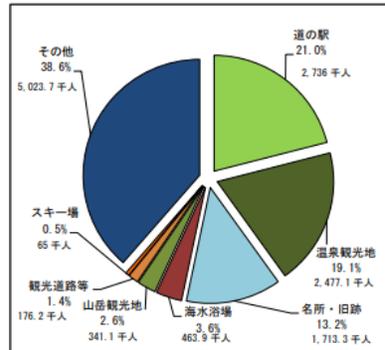
庄内withコロナの現状（庄内地域）

【図15】年次別観光者数

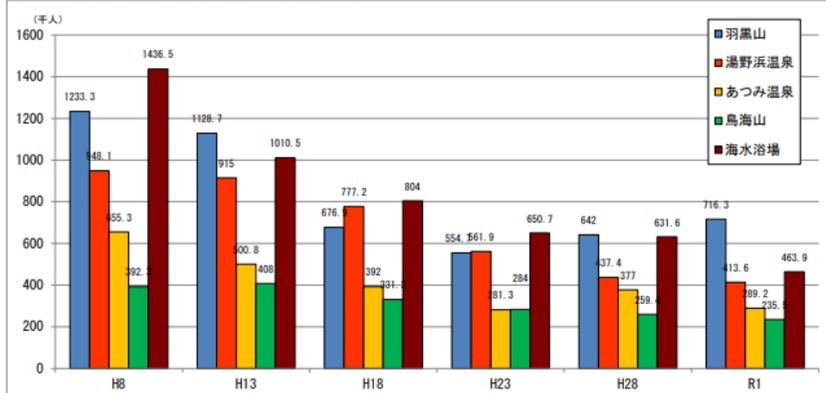


資料：山形県観光者数調査

【図16】観光地類型別観光者数（令和元年度）



【図17】観光客数の推移（管内主要観光地）



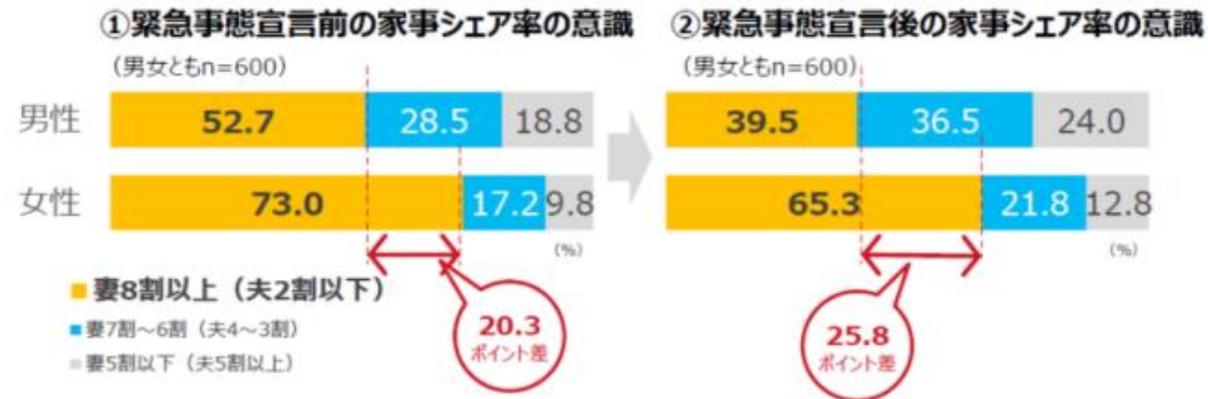
資料：山形県観光者数調査

・対前年比では、「名所・旧跡」「観光道路等」で観光者数が増加

・令和元年度の庄内地域の観光者数は12,996千人（前年比2.5%減）で、県全体に占める比率は28.7%

お母さんの大変さ

【図3】 男女別、緊急事態宣言前後の家事シェア率意識の変化



- 女性は、65.3%と宣言前より8ポイント下がっているが、男女差は25ポイントと以前より夫婦間ギャップは大きくなっている。
- 「名もなき家事」が増えた

「親孝行プラン」

- ▶ コロナで実家に帰れない・親孝行できていない
- ▶ お母さんはwithコロナで家事が大変



- ▶ 親に家事をさせない楽しい帰省を！！
- ▶ **コロナ後に親と一緒にいく観光モデルコース**

庄内Afterコロナの過程考える

- ▶ コロナが流行する前と同じ ✕
- ▶ 県境を気にせず移動ができる→**県外からの里帰り**
- ▶ 少人数で旅行したい→**親子2人～4人の少人数**

「親孝行プラン」の特典

- ▶ 車での移動→レンタカー会社と連携
- ▶ バスでの移動→庄内交通株式会社と連携(ツアー中**バス乗り放題**)
- ▶ お食事処や宿泊施設で利用できる**県内の人15%オフ、県外の人20%オフ**の割引チケットを用意し、県内の人と県外の人での差別化を図る

モデルコース例

11時 酒田駅出発

- ・ 屋形船みづき

13時 昼食

- ・ ラーメン(酒田)→ラーメンマップを活用
- ・ 初孫酒造資料館「蔵探訪館」→日本酒造りや歴史について学ぶ、
きき酒コーナーで飲み比べ
- ・ 割引あり

15時 寺社巡り

- ・ 総光寺
- ・ 羽黒山五重塔
- ・ 湯殿総本寺
- ・ 南岳寺 など

17時 スイデンテラス到着

- ・ 割引あり

帰省の時期

▶ お盆、ゴールデンウィーク等の長期休暇

長期休暇は何もせずとも帰省する人が多くなるが、帰省する習慣がない人も呼び込みたい

▶ 9月から11月の連休

大きい連休に帰省することはあっても、短い連休で帰省する機会は少ないのでこの期間に帰省することを促したい

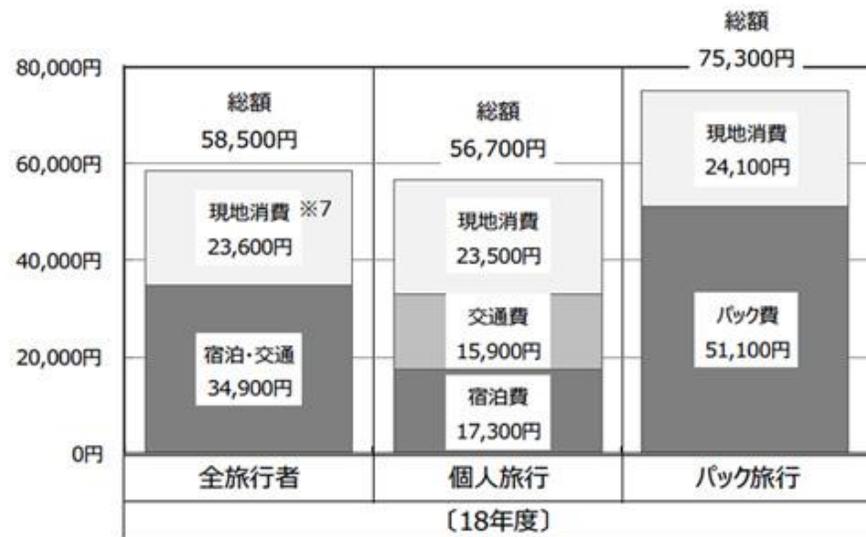
費用

▶約700万円

→長崎県五島列島小値賀町を参考

- ・ 特別有名な観光資源や産業をもっていないが、「NPO法人おぢかアイランドツーリズム協会」を設立
- ・ 観光業への注力を開始
- ・ 様々な賞を受賞し、観光業の売上は1億円を突破をしている

費用 内訳



- 特典割引負担分 3,185,000
- 観光の情報発信事業 216,700
- 公的施設の管理 1,500,000
- 人件費 1,987,000

旅行形態	一人旅	恋人との旅行	夫婦二人での旅行	小学生以下の家族旅行	中学生以上の家族旅行	親連れの家族旅行	その他の家族旅行	友人との旅行	職場やサークルなど団体旅行	その他
単位 (%)										
(18年度) 全体	18.0	7.8	25.2	12.0	4.5	8.4	7.8	12.8	2.7	1.0

長崎県 小値賀町 おぢかアイランドツーリズム



- 小値賀島で活動
- 三つの団体が統合
- 特定非営利活動法人
- 旅を総合的にプロデュース

長崎県 小値賀町 おぢかアイランドツーリズム

評価

- ▶ 島ぐるみの観光まちづくり
- ▶ 島の日常を観光資源にする
- ▶ 「守る」ための「観光」

→ 庄内の観光資源を生かし、都心よりもゆったりとした観光ができる

見込まれる効果

- ▶ 親孝行プランにより、若い世代が地元に戻る機会が増えてUターンに繋がり、地域の活性化が促進される。
- ▶ 宿泊の機会増えることにより、観光収入の増加と相乗効果で周辺の観光施設の収入の増加も見込める。

まとめ

▶ コロナによる問題

→お母さんの大変さに注目

▶ 提案

→親に家事をさせない親孝行プラン

▶ 効果

→コロナで落ち込んだ観光業の回復、
Uターン者増加

参考文献

- [1] 山形県観光スポーツ部「令和元年度 山形県観光者数調査」(令和2年10月) (参照2021-07-12) pp,3-6
- [2] 山形県庄内総合支庁「庄内地域の概況 令和3年度版」 p.32
- [3] 観光経済新聞「【データ】「コロナ禍による生活や家事に関する変化」調査」[【データ】「コロナ禍による生活や家事に関する変化」調査 | \(kankokeizai.com\)](#) (参照2021-07-12)
- [4] [2021年のコロナ禍から探る、新しい観光の姿とは - 東洋大学https://www.toyo.ac.jp/link-toyo/life/2021_tourism](https://www.toyo.ac.jp/link-toyo/life/2021_tourism)
- [5] [町おこしを成功させるには？実際の成功事例・アイデアも紹介！ | みんなの観光協会 \(minna-kanko.jp\)](#)
- [6] [1回の宿泊旅行にかかる費用、平均でいくら? | マイナビニュース \(mynavi.jp\)](#)
- [7] [おぢかアイランドツーリズム | おぢか島旅 | 長崎県五島列島・小値賀町 \(ojikajima.jp\)](#)
- [8] https://www.env.go.jp/policy/keizai_portal/B_industry/frontrunner/reports/h27engine_31odikaislandtourism.pdf